

# 福祉文教委員会



満端委員・倉田委員・榎委員・上嶋委員  
車戸委員・松山委員長・山腰副委員長・藤江委員

## 政策課題

福祉文教委員会の所管は、市民活動部、福祉部、市民保健部、教育委員会に関することです。

その中から、次の4点を政策課題として、重点的に調査研究を進めます。

### ① 子育て環境

市民が安心して子育てできる環境を目指して、妊娠・出産・子育て期に至るまでの切れ目

のない支援を目指す取り組みを調査研究する。(子育て世代包括支援センターなど)



### ② 教育環境(コミュニティ・スクール、小中一貫等)

学校と地域が連携・協働し、地域でどのような子どもたちを育てるか、ビジョンを地域住民・保護者と共有し地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を目指す取り組みを調査研究する。

### ③ 健康寿命の延伸



「健康寿命」は健康上の問題で日常生活が制

限されることなく生活できることをいう。そのことから、子どもから高齢者まで全ての市民が健康に関心を持って健康づくりを努力し、その活動を社会で支える取り組みを調査研究する。



### ④ 協働のまちづくり

5月に議会として政策提言した「協働のまちづくりの制度充実について」を踏まえ、各地域のまちづくり協議会長との分野別意見交換会を開催するなど、より活動しやすい制度となるよう調査研究を進める。

### 6月16日(協議事項) 高山市火葬場建設基本構想の策定について

新火葬場建設検討委員会からの答申を基本とし、委員会での議論や市民の意見を踏まえ、基本構想(案)を策定。

協議後、7月には検討委員会への報告や市民説明会を開催。

### 【主な質疑】

問 施設の整備内容の試算や図面には、多目的ホールとある。多目的機能の必要性は。

答 従来の嫌われる施設としてのイメージを払拭するため、公共施設としてふさわしい建物(誰もが利用しやすい場所・建物、近隣住民の生活環境への配慮)といった基本方針に基づき、施設に親しみを持てる機能を設けたい。屋内の部屋ばかりでなく、他の待合機能と併用できる部分、芝生広場、公園など、いろいろな事が考えられる。

という想定である。平屋建ての想定、駐車台数の確保や、周囲の環境に配慮した緩衝帯により、面積が増となった。実際の場所を選定する中で、敷地面積が圧縮されることも考えられる。

問 試算面積に満たない場合、候補地に適さないと判断してしまうのでは。候補地選定にどのような向かうのか。

答 延床面積及び敷地面積の試算は、候補地の選考や施設の設計における必須条件とは位置付けず、土地の状況や周辺環境などに応じ柔軟に対応する。

### 【委員会の意見】

多目的機能などについては、不確定要素が多い中、現時点で面積等固定化するのではなく、必要性を検討する中で進めていただきたい。委員会での議論を市民に丁寧に説明していただきたい。

以上、協議における委員会の意見としてまとめ伝えました。